

マドリーム通信

在スペイン日本国大使館附属
マドリッド日本人学校
文責 堀内正樹
平成30年7月20日 No. 5

ひまわり

いよいよ待ちに待った夏休みに入ります。

私の子どもの頃の夏休みの思い出は、蝉採りと学校のプールで泳いだこと。中学生になると部活動で対外試合にも出場するようになり他の学校を意識し始め、少しずつ視野が広がっていったことでしょうか。また、年に一度の家族旅行も思い出です。旅館で大きなお風呂に入り家族でゆっくりと食事ができることに家族みんなで幸せを感じたように思います。みなさんにもこの夏休みは家族でゆっくり話をする時間をとってほしいと思います。

さて、1学期を振り返ってみたいと思います。

入学式等でお話した今年みんなのできるようになりたいことの「ひまわり」を視点に振り返ってみます。

「ひろく世界に目を向けよう:みとおす力

小学生は自分でできることが年齢相応に増えていき、集団の一員として学級や学校の役割を意識できるようになってきました。中学生は、運動会や宿泊体験活動で企画・運営に携わり、見事成功に導いてくれました。また、職業について調べたり、モニターさんについて質問したりする中で、自分と周りとのつながりを、学校の中だけでなく社会にまで広げていきました。今後は、世界まで広げていきましょう。

「ま」けない気力・体力をつけよう:みつめる力

校内の生活では、欠席も少なく、体育の授業や部活動、運動会や宿泊体験活動に積極的に参加している姿をたくさん見ることができました。夏休みは規則正しい生活が緩みがちですが、早寝早起きに心がけてほしいと思います。

「わ」かるまで勉強しよう:ふかめる力

授業で分からないところはそのままにせず、自分で調べたり先生や友達に質問したりして解決するだけでなく、ディベートを取り入れた授業に熱心に取り組んだり、活動の振り返りでは作文を書いたりして考えを深めていました。

「り」かいし合える豊かな心を育もう:つながる力

泊を伴う宿泊体験学習では、いつもとは違う友達の一面を見ることができたと思います。また、夏季体験学習では、マド日にやってきた友達と一緒に生活し、文化の違いなどを感じることもあったと思います。それらの自分との「ちがいを」友



達の良い面」として受け入れることができると人は成長します。一人一人が個性(違い)をもっているからこそ新たなアイデアが出され、よいものが作られていくのだと思います。積極的に周りの人とつながり、理解し合っていくことが大切なのです。

この1学期で「ひまわり」であらわされる4つの目標(力)が、少しずつではありますが確実に身についてきていると思います。

夏休みは、この成長に自信をもって、学校では味わえない体験をし、さらに自分の力を伸ばしていきましょう。

9月の予定

1	土	運動場草取り(盆踊り大会に向けて)9:00
2	日	
3	月	始業式
4	火	夏休み作品展 16日まで
5	水	給食
6	木	
7	金	漢検・英検申し込み校内×切り 部活動
8	土	
9	日	実力テスト 盆踊り大会
10	月	振替休日
11	火	中学部基礎コン(計算)
12	水	給食
13	木	
14	金	部活動
15	土	
16	日	家族参観日
17	月	振替休日
18	火	
19	水	給食
20	木	
21	金	部活動
22	土	
23	日	
24	月	中学部補充学習
25	火	中学部補充学習
26	水	中学部補充学習 避難訓練
27	木	中学部補充学習
28	金	中学部中間テスト 講師招聘学習 部活動
29	土	
30	日	



夏季体験入学終了

夏季体験入学に来てくださった皆様、ありがとうございました。6月25日から行われていた体験入学ですが、7月13日をもって終了していました。いつも元気なマド日ですが、今年も多くの体験生を迎え、さらに活気ある毎日となりました。一緒に活動する中で、個性を認め合い、競い合ったり互いに刺激し合ったりすることはお互いの成長につながったようです。最終日の「送る会」では別れを惜しみ涙を見せる児童生徒もいました。来年も多くの児童生徒さんをお待ちしております。



水泳学習発表会

7月17日に水泳学習発表会が行われました。小学部生も中学部生も発表会で「何の種目で何m泳ぐことを発表するのか」を体育の授業で決め、練習に取り組んできました。水泳に苦手意識を持っている子どもたちも一生懸命練習に取り組み、発表会当日には見事目標をクリアすることができました。目標を定めて取り組むことは、つらいこともあるけれど、クリアできると楽しさにつながっていきます。この取組で得たことをほかの活動にも生かしてほしいと思います。



マド日の学び

水泳学習発表会が終わった後、保護者の方と学級担任との面談が行われます。子どもたちは保護者の方と一緒に下校するため、ホール近くの教室で勉強して面談が終わるのを待っています。様子をのぞいてみると、上級生が下級生に宿題を教えてくださいました。私たち教員が教えるようにと指導したわけではありません。このような姿が日常生活の中に普通にあることもマド日の良さの一つだと思いました。うれしいひとコマでした。



派遣教員のつぶやき

「不協和音」

中村 大介

2017年の年末、紅白歌合戦で欅坂46がパフォーマンスした楽曲です。2回目のパフォーマンスではメンバーがふらふらになり、3人ほど倒れてしまったエピソードが話題になりました。それくらいダンスがハードで、歌詞もアイドルの楽曲とは思えないメッセージ性の強いものです。歌う方もそれなりのエネルギーと覚悟が必要なんだそうです。日本のある政治家もファンであることを公言して、ちょっとニュースになっていました。そういう私もファンの一人で、この「不協和音」だけでなく、欅坂46からたくさんの勇気や元気をもらっています。

「不協和音を僕は恐れたりしない 嫌われたって 僕には僕の正義があるんだ 殴ればいいさ 一度妥協したら死んでも同然」

「不協和音で既成概念を壊せ みんな揃って 同じ意見ではおかしいだろう 意志を貫け ここで主張を曲げたら 生きてる価値ない」

「ああ 調和だけじゃ危険だ ああ まさか 自由はいけないことか 人はそれぞれバラバラだ」

何かを乱すことで気づく もっと新しい世界」

先ほど言った通り、ハードな歌詞で、こんな歌詞通りの生き方をしていたら、きっと今の自分はいないだろうな〜とか、友達できないだろうな〜とか思ってしまう。しかし、私がこの楽曲に惹かれるのは、部分的ではあっても、憧れる生き方でもあり、共感できるところがあるからです。

しかし、私はこうも考えます。人が集まる場所で、意志を貫こうとすれば不協和音が生まれることは当然のこと。それを恐れていては、新しいことは何も生み出せない。その不協和音を美しいハーモニーにして奏でるのも、また人であるということ。私は、そういう人でありたいとも思います。

ちなみに欅坂46は、雰囲気の良い曲ばかりを歌っているわけではありません。この「不協和音」を聴いた後に爽やかな「世界には愛しかない」を聴くと…。名プロデューサー秋元康の戦略に“どハマリ中”です。



pixta.jp - 11206081